

2000年9月18日

いすゞと GM、北米に合弁で商用車販売統括会社を設立

いすゞ自動車の米国販売会社 アメリカンいすゞモーターズとゼネラルモーターズ（以下 GM）は、この度、アメリカ合衆国における中型商用車の販売統括会社「ゼネラルモーターズ いすゞ コマーシャルトラック LLC. (GMICT)」を合弁で設立した。

いすゞと GM は 1998 年に、いすゞが GM グループ全体の商用車ビジネスの主体を担うことで合意している。今回の販売統括会社設立は、北米商用車市場においても、いすゞの豊富な商用車ビジネスの経験を生かし、GM グループ全体の競争力強化を図るものである。

新会社 GMICT の資本金は当初 5 万ドルで、出資比率はアメリカン いすゞ モーターズ (American Isuzu Motors Inc. 本社;カリフォルニア州セリトス市 社長;須藤康之)が 51%、GM が 49%となる。

GMICT が担当する分野は、マーケティング・販売・サービス業務で、いすゞ及び GM 製の、クラス 3 からクラス 7 (総重量約 4.5 トン～約 15 トンクラス)の全中型商用車を取り扱う。また販売網とブランドは、現状のいすゞ商用車及び、GM の商用車部門であるシボレー、GMC の 3 系列を継続する。これにより GMICT が統括するディーラー総数は約 750 店となる。

今回の合弁会社設立は、いすゞの持つマーケティング力と、GM が確立しているブランド管理システムを融合すると共に、管理、流通コストの効率化によりグループとしての競争力強化を図り、お客様に高品質で満足度の高いサービスを、適正な価格で提供することを目的としている。

いすゞは 1984 年より北米で、いすゞブランドの商用車販売を開始し、1986 年からは GM へも供給している。現在クラス 3 からクラス 7 のキャブオーバー型トラック市場全体では、いすゞ製トラックがシェア 70%と圧倒的な人気を獲得している

1999 年の中型商用車の販売台数は、いすゞ販売網で約 20,000 台だったほか、シボレーが約 11,000 台、GMC が約 24,000 台で、シボレー/GMC 合計の 35,000 台のうち、約 6,000 台がいすゞ製トラックであった。

今回の北米におけるいすゞと GM のビジネス協業は、7 月にディーゼルエンジンの生産を開始した DMAX LTD.(ディーマックス リミテッド)に続くもので、今後も両社は、世界各国で一層緊密な協力関係を築いていく。

以上

会社概要

- 社名 : ゼネラルモーターズ イスズ コマーシャルトラック
(General Motors Isuzu Commercial Truck LLC.)
- 設立年 : 2000年9月15日
月日
- 所在地 : アメリカ合衆国カリフォルニア州セリトス市
(13340 183rd Street, Cerritos, California 90702-6007 U.S.A.)
- 資本金 : 5万ドル (設立時)
- 出資者 : アメリカン イスズ モーターズ インク 51%
(American Isuzu Motors, Inc.)
ゼネラル モーターズ コーポレーション 49%
(General Motors Corporation)
- 代表者 : James C. Underwood, 取締役社長 兼 COO
- 事業内
容 : 北米市場における中型商用車のマーケティング・販売・サービス業務
- 販売品
目 : いすゞNシリーズ(日本名エルフ、現地名 ISUZU-N シリーズ、
Chevrolet/GMC- W シリーズ)
いすゞFシリーズ(日本名フォワード、現地名 ISUZU-F シリーズ、
Chevrolet/GMC-T シリーズ)
GM コンベンショナル (ボンネットタイプ) 中型トラック (現地名
Chevrolet/GMC- C・T シリーズ)
- 販売計
画 : 2000年 7万5千台
2003年 8万5千台
- 従業員
数 : 168名